

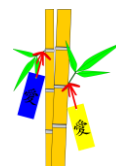
NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



今日も日暮れの散歩

今やペットは家族の一員です。寿命の短いイネやネコとの暮らしは、かけがいのない毎日… “ウチの仔” 達のためにも、この日常がつづきますように。





みんなの広場



負けてたまるか

一人息子の所に嫁に来て、早くに先立たれ若いうちは夢中だったね。じいちゃん(義父)もばあちゃん(義母)も理解があったし、母親も二人の子供たちは引っ張っても引きずっても育てられるから「頑張れ」って励ましてくれた。

リンゴ作りをしていた頃は子どもたちがリンゴ狩りに来たりもしていたね。近所の千津ちゃんにも手伝ってもらって孫の面倒もみてもらった。世話になり通しだった。



家族ぐるみのお付き合いで、当たり前前のことをしていただくだけ。私が助けられていたくない。これからはよ
朝倉 千津

今は菊の花。娘が忙しいと手伝いたくなる。以心伝心だと思います。昔の事を考えると夢のような気がします。(デイサービス)行って、ばちが当たらないかなって思う。毎日幸せで感謝しています。

「負けてたまるか」と思って頑張ってきたけど、今は「死んでたまるか」になっちゃった(笑)。世の中は巡り巡っていると思います。

〈利用者 佐藤 タツ子〉

母のしたいように 長生きしてほしい

昨年8月に母の介護が始まりました。コロナワクチンを接種してお盆に帰省し、久しぶりに母とお墓参りをして帰ってきた1週間後でした。背骨を圧迫骨折して起き上がれなくなってしまいました。自宅に連れてきて通院する日々を2か月続けたころ、よくなり動けるようになったものの、福島に帰りたく毎日訴え、だんだん元気がなくなってしまいました。うつ病になってしまうのではと心配し、包括支援センターに相談しました。介護認定を受け、ケアプランを立てていただき、色んな方々にお世話になり、一人で暮らせるようになりました。

戦争を体験し、共働きで私たち子どもを育て、ずっと苦勞してきた母には、好きなように気ままに暮らし、長生きしてほしいと願うばかりです。勿論一人暮らしは心配ですし、月に一度は様子を見に帰省しています。沢山の方々のサポートを受けながらではありますが、母の思うように暮らしてほしいと思います。

最後に母を支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

〈利用者家族 千葉県在住
宍戸 節子〉

令和4年度 通常総会（5/30）（書面表決） 報告

令和4年度の通常総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き書面表決による開催となりました。書面表決の結果は、次の通りです。

正会員数 32 名。決算、事業計画、予算等すべての議案が承認されました。また、以下の新しい理事 2 名の方が追加選出されました。

理事 高野 靖久



私は、民生児童委員として活動させていただいております。今は先の見えないコロナ禍の中で思うように活動出来ない状態です。コロナ前は定期的に訪問し、訪問した先の先輩方から色々な事を教えていただきながら話をさせてもらっていました。

また、訪問していると私ではわからない事とかが出てきます。そんな時は先輩の民生児童委員、包括支援センターの方に相談しご協力を願っていました。

今回このような事を仰せつかり大変迷っておりましたが、皆様方よりご指導いただきながら携わっていきたいと思います。よろしく願いいたします。

理事 斎藤正義

特定非営利活動法人 やすらぎの郷いいのは、「安心して住み続けられるまちでありたい」という思いを抱いた有志の皆様により設立されました。それ以来、地域の皆様のご理解と、真心を込めて活動を続けてこられた職員の方々によって、今日まで、支援を必要とする人と地域の皆様との信頼関係を築いてこられました。



私は、介護保険事業は素人で、皆様の活動を感じて見ているだけでしたが、このたび理事をお引き受けすることになりました。設立された先輩方の思いを大切に、支援を必要としている皆様はもとより、元気な高齢者の皆さんによる有償ボランティア活動など、地域全体で繋がりのある活動ができますよう、微力ではありますが務めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

<安心して住み続けられるまち リレートーク その15



飯野の地域で施設を運営していく思い

企業組合 飯野の里が飯野町に設立されて、十数年が経過いたしました。

これもひとえに当組合のサービスを利用されているご利用者様・ご家族様をはじめ、施設に従事する職員、地域の皆様方のご支援・ご尽力のおかげと厚く御礼申し上げます。

現在の日本は少子高齢社会により、高齢者の単独世帯や2人暮らしの割合が増加しています。そのため、高齢者が高齢者を介護する

“老々介護”も珍しくありません。そのような現状の中、新型コロナの影響により地域との関わりが少なくなり孤独感が強くなることで、高齢者の自殺であったり、ゴールが見えない状況での介護疲れからパートナーを殺めてしまう痛ましいニュースが各地で起きています。

飯野の里は施設運営を通じて、地域の皆様がこれからも飯野町で生活できるように生活支援をさせていたし



だきたいと同時に、飯野町での痛ましい出来事を未然に防ぎたい・起こさせないといった強い思いがあります。今後の生活や介護に不安もしくは悩みを抱いている方に、できる限り手を差し伸べられるような存在でありたいと思います。そのためにも、これまでの繋がりをより一層大切にしたいうえで、地域との連携強化を図り、飯野町に住む皆様方の生活を多方面から支えられるようスタッフ一同努めてまいります。

〈企業組合 飯野の里副施設長
兼看護師 菅野 道裕〉



NPO やすらぎの郷いの

福島市飯野町字前川 1 6

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一口一言

今日も、夏の到来を告げるホトトギスが鳴いています。「特許許可局」とか「テッペンカケタカ（天辺翔けたか）」と聞きなしされています。春のウグイスとどちらが好きですか？ (K)